

DATA FILE



斜方晶系

名前	CHIASTOLITE (カイアストライト) / 空晶石
化学組成	Al_2SiO_5
色	褐色、茶色など
光沢	ガラス光沢
蛍光	なし
条痕	白色
劈開	完全
断面	貝殻状
硬度	7.5
比重	3.1

※空晶石は紅柱石の変種であるため、ここでは紅柱石のデータを掲載しています。

空晶石 CHIASTOLITE

紅柱石の変種で、一部が白雲母化し、炭質含有物による十字模様があらわれたものを空晶石という。

ハンマーでたたくと貝殻状の断口を示す。

素焼きの陶板にこすりつけると白色の条痕が残る。

ガラスのような光沢を持つ。



粘板岩と花崗岩の接触部に生成する。

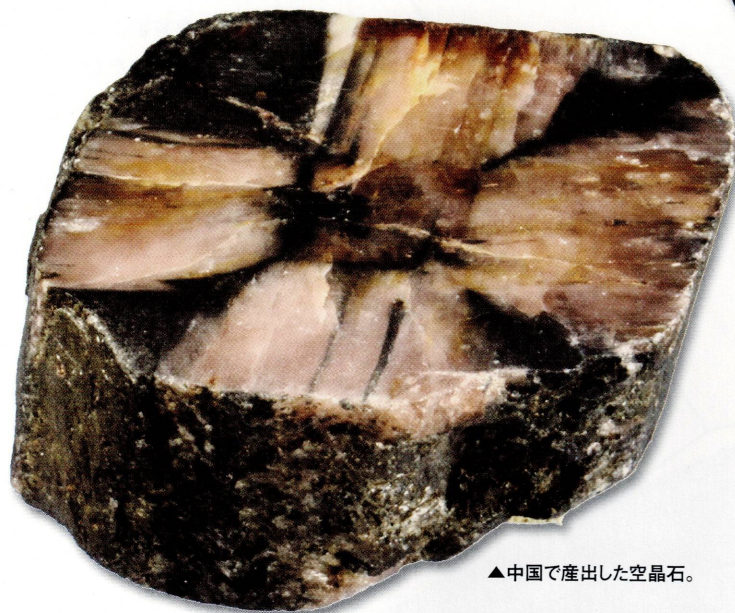
柱状結晶の断面に十字模様があらわれた空晶石。

紅柱石の変種

主に粘板岩と花崗岩の接触部から産出する空晶石は、独立した鉱物種ではなく紅柱石の変種として存在し、柱状結晶の底面に対して平行な断面上に、黒色の十字模様が見られているのが特徴。副成分の炭質含有物が紅柱石中に対称的に配列されてできたこの十字模様が、石に浮かび上がった黒い十字架に見えることから、空晶石は別名「クロスストーン」とも呼ばれ、中世

ク 空晶石

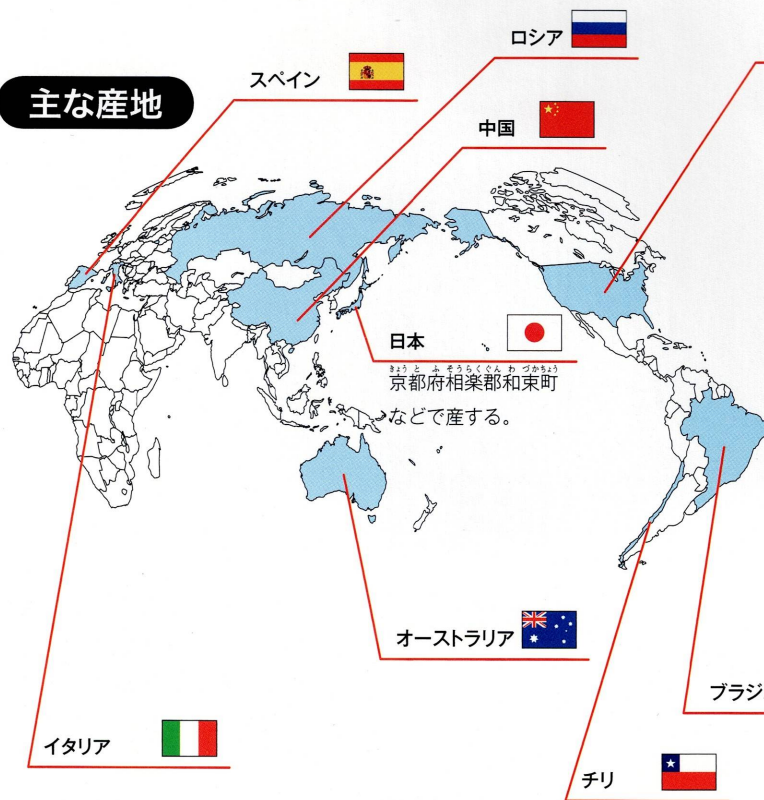
▼粘板岩中に生成した空晶石の結晶。



▲中国で産出した空晶石。

ヨーロッパでは魔よけのお守りとして身につけられていた。なお、英名の「カイアストライト (chiastolite)」は、ギリシャ語で「対角的な配列」を意味する「chiastos」を語源としており、質の良い空晶石は、研磨されてボタンやアクセサリに利用されている。

主な産地



▼空晶石は柱状結晶の断面に対して平行に、金太郎飴のように模様が入っている。アメリカ・カリフォルニア州産。

